

第九回 綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会 会議録

〈開会〉

【事務局 向原課長】

ただいまから第九回綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、事務局を務めさせていただいております、神奈川県道路整備課長の向原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめにウェブ会議にあたっての注意事項を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、発言するときのみマイクボタンをオンにしてくださいようお願いいたします。

また、質疑・ご意見の際には、挙手ボタンを押していただき、マイクをオンにした後、該当するページをお知らせくださるようお願いいたします。

該当する資料を画面上で共有をさせていただきます。

また、本日の出席者につきましては、本来であれば改めて委員の皆様をご紹介させていただきたいところですが、会議の時間も限られておりますので、お手元に配布させていただいております、出席者名簿をご覧ください、ご確認いただければと思います。

続きまして本日の傍聴状況についてご報告をさせていただきます。

本日は一般の傍聴の申し出はございませんでした。

また、報道関係者からの申し出もございませんでした。

なお、本日の会議及び会議録につきましては、地区協議会規約第8条に基づき、原則公開となります。

事務局からの説明は以上となります。

ここからの、協議会の進行は岸井会長にお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

【岸井会長】

皆さんこんにちは。岸井でございます。

ただいま、事務局が説明したとおり、会議の議事録につきましてはすべて公開とさせていただきたいと思っております。

よろしくご了解いただきたいと思います。

また、現時点で傍聴の申し込みがないということではありますが、もしご希望

の方が来たら、適切な誘導をお願いしたいと思います。

それでは、これからお手元の議事次第に従いまして、今日の会議を進めてまいろうと思います。1点目は「協議会規約の改正」、2点目は「フォローアップ」でございます。

順番に説明していただいて、随時意見交換ということで進めていきたいと思っております。

まず資料1の「協議会規約の改正」につきまして、説明をお願いいたします。

【事務局】

資料1により、綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会の規約の改正について説明。

【岸井会長】

私の所属の変更、組織の改編、開通しましたので所管が管理部門に変更しているということでございます。

協議会の規約については以上のように改正してよろしいでしょうか。

<異議なし>

それでは原案の通り改正ということにしたいと思います。

それでは続きまして、議事の2番目フォローアップに関する説明をお願いいたします。

【事務局】

資料2により、フォローアップについて説明。

また、綾瀬スマートインターチェンジの利用交通量を綾瀬市のホームページに掲載していく予定である旨を説明。

【岸井会長】

ただいま、これまで計画してきたことについて、具体的にどういう効果があったのかと言う検証をしていただいた資料が報告されました。

ご質問、ご発言をいただきたいと思うのですが、自分の手を挙げる機能を使っていただいて手を挙げるマークを出していただいても結構ですし、あるいは画面上で手を挙げていただいても分かりますので、ご発言をいただきたいと思っております。

ご質問、ご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。

森山委員よろしく申し上げます。

【森山委員】

関東地方整備局の森山でございます。

今回は、実施計画の時に作られたものに基づいて、社会便益について算定されたものをご説明いただきましたけれども、交通状況の変化につきましては、日本の大動脈である東名高速道路に新たにスマートインターチェンジを設けていますので、当然、交通の状況に変化が生じるものと思われま

す。綾瀬スマートインターチェンジ自体が、東名高速道路に接続しているということ、それと東名高速の中でも利用交通量がとても多い区間で設置されたスマートインターチェンジでございます。

今回の説明でも、企業活動の活性化としてアンケート調査や企業様の声といったものを説明いただきましたが、例えば「雇用の創出」であるとか、「税収の増加」であるとかにも着目してみてもどうかと、日本を代表するスマートインターチェンジだと思いますので、日本全国に対して発信できるような社会便益、それを目指していただければと考えてございます。

今回、会議資料の今後の予定のところ、「計画交通量を下回った場合には協議を開催し」と記載されていますが、引き続き整理いただき、日本全国に「東名にできた綾瀬スマートインターチェンジは、こんなに素晴らしいものだ。」というものを、発信していただきたいなというふうに考えてございます。

【岸井会長】

開通してから約2年ですから、交通量を見てもだんだん増えてきていて、ようやく認知が進んできているのかなと思いますが、全体にわたってもう少し社会的な便益をしっかりと把握できないですかということですが、事務局いかがでしょうか。

【事務局】

今回、この社会便益、企業活動の活性化をお示しするにあたって庁内でさまざまな議論をいたしました。

ご指摘いただきましたような、「雇用の創出」などはないのかということで、データを調べたのですが、今時点でなかなかすぐにお示しできるデータがなく、企業の声を拾い上げ、資料化している状況でございます。

今後のフォローアップについては、例えば道路交通センサスの調査や現場の事務所でパトロールなどをすることで、交通状況の変化をモニタリングしていくことを想定しておりましたが、今回ご指摘いただきました件については、庁

内で議論させていただければと思います。

また、委員の方々や綾瀬市さん、藤沢市さんとも調整しながら、出せるデータ等があれば出していきたいと考えております。

【岸井会長】

先ほどのご説明ですと、フォローアップの結果は綾瀬市のホームページに掲載される予定でよろしいのでしょうか。

【事務局】

フォローアップの結果は、神奈川県ホームページにこの資料を掲載する予定です。

綾瀬スマートインターチェンジの利用交通量は、継続的に綾瀬市のホームページで公開していきたいと考えております。

【岸井会長】

これからもうちょっと効果が発揮されてくれば、いろいろ検証できるのではないかっていうことですが、そういう感じでよろしいですかね。

【森山委員】

そういう形で結構でございます。

できれば、地区協議会のメンバーの皆さん、経済界の皆さんも参画いただいていますので、是非、行政、高速道路会社だけじゃなく、経済界も含めた形で、フォローアップして全国に発信できるような、素晴らしいインターチェンジだったと言うことを示すようなものを、引き続きご検討いただくように皆で努力していければなと考えています。

【岸井会長】

他にはいかがでしょうか。

綾瀬市長様が今回おいででございますけど、綾瀬市の中でこういった変化が出てきているなど、何かお気づきの点があれば、是非ご発言をいただきたいと思います。

【古塩副会長】

区画整理事業も進んできてますし、私どもも、少しずつですね効果がでてるのは感じていますが、もう少し綿密な調査をして、企業、やっぱり、企業の方にも少し連携した調査を行って、当然大きな効果が出ていると思うので、こ

れから調査をしていきたいと思えます。

【岸井会長】

今日は藤沢市の宮治副市長さんもお越しでございますが、藤沢市の方はいかがですか。何かお変わりになることなどございましたか。

【宮治委員代理】

藤沢市の宮治でございます。

やはり開通してから、藤沢市の北部にいろんな工業や産業誘致するという計画がいろいろあったわけですが、かなりこの一年二年で、具体的に動き出してきたなという実感があります。

また、色んな企業さんからの引き合いなども増えておりますので、徐々にそういった動きが出てきているのかなというふうに感じています。

先ほどご指摘があったような、統計データとして、具体化した数字が現れてくるには、もう少し時間がかかるのかなと思っておりますけれども、私の実感として、やはり開通の効果というのは肌で感じているところでございます。

【岸井会長】

まあ二年ですからね。

もうちょっと浸透してきて、さらなる動きが出てきて、それが数字になるのにはちょっと時間がかかるのかもしれませんが。

経済界の方からもどうでしょうか。

何か皆さんの活動に関して、多少なりともこのインターチェンジが役に立っているでしょうか。

綾瀬市商工会の笠間会長、お願いします。

【笠間委員】

説明を受けて大変良い結果が出ているなということで、まあ、評価をしています。

今後、よりこのスマートインターチェンジが周知され、またその効用についても知れ渡ってくると、相当なる交通量が予測され、大きな活性化につながるということを期待しております。

それに伴って、当然インター周辺の生活者に対する対応等も鑑みながら道路整備ならびに道路管理、こういった点については、より一層きめ細かな対応を、市または、県、国、合わせて進めていく、大きな課題をいただいたのかなと思っています。

具体的な道路整備等については、当然、所管の部局に対して強く要望していますので、そういったものを積極的にこれから進めていく必要があると思っております。

古塩市長が言われたように、工業用地が不足しており、いろいろと土地区画整理事業等を提案しながら、地権者の皆さんにご理解を求めています。なかなか確保には繋がらない点があります。

今後、そういった土地利用も含めてまちづくりの全体ビジョンに合わせながら、適正な土地利用を進めることが大事だと思っています。

その辺の理解も市民の皆さんに求めて、このインターの果たすべき役割と、地域の活性化策など、多面性からお願いしていきたいなと思っております。

【岸井会長】

確かに効果が高いということは、周辺の土地利用も含めて変化が起きることなので、そういった影響をどうやってうまく受け止めていくかっていうことも同時に進めていかないといけないということだと思います。

藤沢市商工会議所の増田会頭、お願いします。

【増田委員】

先ほど、宮治副市長からお話がありましたように、北部方面で皆さんの要望やご相談も入ってきております。

こういったことが、実現するまでにはもうちょっと時間がかかるのではないかと思いますので、そういったところを合わせて、その後に皆様方に報告ができればというふうに思っております。

【岸井会長】

先ほど、地元のさまざまな皆様のご協力を得なければいけないし、影響がマイナスの面も出るかもわからないというふうな心配もありました。

綾瀬市自治会長連絡協議会の鈴木会長、いかがでしょうか。

何か自治会の皆さんの方からご意見が出ておりますでしょうか。

【鈴木委員】

色々この資料を見させていただくと、今はコロナ禍での3年間であり、データなんか、コロナが収まったらもっと変わっていくかなと思っています。

綾瀬市の場合は、新たに道の駅ができたなら、やはり県の道路なんか一般道も非常に混んでくるのではないかなと思っています。

この数字がコロナ禍の中でなかった数字だったら、もっともっとみんなに言

うことができるんですけど、これが改善されたら、もっともっと数字が上がってくるんじゃないかと、周りの人には聞かれたりしますので、その辺の説明をお願いしたいと思います。

【岸井会長】

事務局では、コロナの影響はどれぐらいあるというふうにお感じですか。

開通前後の比較などもありましたけど、それもコロナの影響がある数字になっているのではないかという心配があるかと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

資料の4ページですけれども、供用前の数字は、コロナ前の数字となっております。平成31年4月から令和2年3月までの数字となっております、コロナ前の数字と比較して多くなっているという状況です。

今ご指摘いただきましたように、コロナが完全に明けたら、もう少し交通量が増すのではないかという指摘については、その可能性もあると思っておりますので、引き続き、交通状況をモニタリングしていきたいと考えております。

【岸井会長】

今日は中日本高速道路の方もいらっしゃるのですが、高速道路全体としては、コロナの影響はどれぐらい回復してきている、あるいは、まだ残っているとお考えになっていらっしゃいますか。

実態は、他のところの数字だとどんな感じでしょうか。

【内田委員】

ネクスコ中日本の内田と申します。

今、日本全体としましては、概ねコロナ前まで戻ってきた状況であり、コロナ前と比較して九割五分から九割八分ぐらいの状況です。

ただし、大型車と小型車で分けてみるとそれぞれ特徴がありまして、大型車と言われているもの、バス等は除きますけれども、そういったものは概ねコロナ前まで戻っている感じがしますけれども、小型車については、コロナ前と比較して九割から九割五分ぐらいの状況です。

小型車については、休日が特徴的でして、皆さまが県外の移動等を差し控えているというところもあり、例えば年末年始では、交通量が2019年度に比べると少なかったという状況です。

一方で、圏央道の内側あたりっていうところにつきましては、ほぼ交通量が戻ってきている。区間、場所によっては少し増になっているようなところがご

ざいます。

ただ、コロナが明けていないという前提にたてば、さらに増えるかもしれないと考えています。

また、綾瀬スマートインターチェンジがある当該区間につきましては、北西線の開通もありましたので、そういった影響もあると思います。

いずれにしましても、今後もコロナの影響を継続して見ていくことが重要ではないかと思えます。

【岸井会長】

一般論で申し上げても、コロナ前からですが、eコマースいわゆる通販でお買い物する方が増えて、物流関係はととも伸びていた状況です。

そういった傾向は、おそらく外へ買い物に少し行きづらくなっている状況の中でも、続いていたので、先程大型車であるとか圏央道であるとかについては交通量が戻ってきている、ほぼほぼ前と同じか、それを超えている状況は、おそらくそういった影響があると思います。

一方で、休日も含めて一般の方が出歩くことは、まだ全部戻ってきてないのかなっていうところかと思えます。

今日は、横浜国道あるいは県警の方もいらっしゃいますが、何かお気づきの点があれば、是非ご紹介いただければと思いますが、いかがでしょうか。

【菊池委員代理】

横浜国道の菊池といいます。

私どもが別途行っている神奈川県内の移動性向上委員会というものがありまして、そちらの中で、コロナ情勢下の動きを見ている中だと、徐々にコロナ前の動きに戻りつつあるのかなと感じております。

【岸井会長】

今のような状況が、これから春にかけて、コロナの感染症上の分類がもし5類に変わったりすると、また一層加速化してくるような気がいたします。

県警の白砂規制官、何かお気づきの点があればご発言いただけますか。

【白砂委員代理】

県警の白砂です。

数字はないのですが、交通管制センターで渋滞発生状況などを見ますと、コロナ禍でほとんど渋滞なかったところが、やはりもとに戻ってきているっていう実感はございます。

【岸井会長】

もう少し様子を見ながら、まだ浸透している途中で、交通量は伸びてきていますので、このインターチェンジの存在が皆さんに知れ渡って、周辺の土地利用に関して動きが出てくるまでには、もう少し時間がかかるかもしれません。

その頃には、全体のコロナの影響も回復してきて、さらに拍車がかかるという状況が考えられますので、先ほど県道やインター周辺の道路のご心配もございましたから、モニタリングを少し重ねていただいて、どういうふうな交通の変化があるのかは、よく見ておいていただけるといいなと思います。

少し長い目で見て、こういうインターチェンジのもたらす効果を、他のところにもしっかりと訴えられるような資料ができるといいですねという最初のご指摘についても、ごもっともだと思います。

是非、県の方で引き続きウォッチングしていただきたいと思います。

事務局で、特にお答えになることはありますか。

【事務局 向原課長】

色々ご意見いただきまして、ありがとうございます。

会長がまとめていただいたような形で、今後の地区協議会についてというところで、まずはインター利用の交通量を適切にモニタリングさせていただくことを考えております。

また、国土交通省さんからのご提案いただきました、全国で誇れるインターチェンジということが言えるような、例えば、「税収の変化」や「雇用の創出」が、綾瀬市内と藤沢市北部等々で、綾瀬スマートインターチェンジの整備によるものだと言えるような、データが取れるようであれば、工夫しながら発信できればというふうに思っております。

本日いろいろ貴重なご意見いただきまして、ありがとうございます。

【岸井会長】

他に重ねて、皆さんから何かご質問、ご意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

<一定の時間、意見などの発言なし>

よろしいでしょうか。

特に重ねてのご意見、ご質問はなさそうですので、今日はこれまでの一年間のデータの整理を見せていただきましたが、先ほどご質問、ご意見あったとお

り、長い目で見てデータをフォローしていくことを、是非お願いをしたいと思
います。

それではフォローアップの資料についての説明は、以上にさせていただきます
まして、議事を終了して事務局に司会をお返ししたいと思います。よろしくお
願いします。

【事務局 向原課長】

岸井会長ならびに、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見いただきま
して、誠にありがとうございました。

以上で、予定していた議題2点すべて終了となりますので、これをもちまし
て本日の地区協議会を閉会させていただければと思います。

なお、協議会の開催結果につきましては、概要をとりまとめた上で、神奈川
県のホームページに掲載をさせていただきますので、ご承知おき下さいますよ
うよろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。

〈閉会〉